



# つがる市議会だより

## 3月定例会

- 定例会の概要 …………… 1
- 新年度予算 …………… 2
- 一般質問 …………… 3～6
- 予算特別委員会 …………… 7～8
- 常任委員会 …………… 9
- 議会の動き …………… 10

▶ 第27号 平成23年5月 発行：つがる市議会 編集：議会だより編集委員会

## 復興を願う 心はひとつ



平成23年4月3日、議長をはじめとするつがる市議会議員団は、イオンモールつがる柏で「つがるちゃんプラザ」オープンに合わせ、しゃこちゃんコートと食品館東口において、義援金の募金活動を行いました。

### 主な可決議案

- 平成23年度一般会計予算 …………… 228億6千万円  
(参照項目：2ページ)
- 平成22年度一般会計補正予算額 …………… 7億9,779万8千円  
補正後の予算額 …………… 236億8,379万9千円  
子ども医療費助成事業基金積立金 …………… 2億7,600万円  
社会福祉施設管理費 …………… 5,876万1千円
- 平成22年度国民健康保険特別会計補正予算額 … 2億1,950万9千円  
補正後の予算額 …………… 55億3,835万円
- 平成22年度介護保険特別会計補正予算額 …………… 1億3,749万7千円  
補正後の予算額 …………… 40億3,308万円

### 3月定例会の概要

平成23年第1回定例会は、3月4日から18日まで、15日間の会期で開催されました。

今定例会では、つがる市子ども医療費助成事業基金条例案等、市長から提出された27議案を原案通り可決及び同意しました。また陳情1件は不採択となりました。

一般質問には、成田克子、長谷川榮子、松橋勝利、佐藤孝志、佐々木敬藏、三上洋、伊藤良二の7名の議員が登壇、市政の課題について当局の考えをいただきました。

# 平成23年度 総予算額362億6,579万円

## 一般会計予算 228億6,000万円 8.7%の増

### 平成23年度一般会計予算

#### 【歳入】

(単位：千円、%)

区 分	予算額	構成比	対前年度 増減額	対前年度 当初比
市 税	2,190,243	9.6	△ 98,280	△ 4.3
地 方 譲 与 税	190,000	0.8	9,999	5.6
利 子 割 交 付 金	7,000	0.0	△ 1,000	△ 12.5
配 当 割 交 付 金	1,000	0.0	0	0.0
株 式 等 譲 渡 所 得 交 付 金	500	0.0	0	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	280,000	1.2	0	0.0
自 動 車 取 得 税 交 付 金	48,000	0.2	△ 1	0.0
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	37,098	0.2	203	0.6
地 方 特 例 交 付 金	56,153	0.2	30,152	116.0
地 方 交 付 税	10,600,000	46.4	250,000	2.4
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	5,548	0	1,149	26.1
分 担 金 及 び 負 担 金	160,877	0.7	△ 30,867	△ 16.1
使 用 料 及 び 手 数 料	388,647	1.7	△ 6,262	△ 1.6
国 庫 支 出 金	3,113,527	13.6	431,480	16.1
県 支 出 金	1,163,481	5.1	123,957	11.9
財 産 収 入	10,417	0.0	△ 182	△ 1.7
寄 附 金	76	0.0	74	3700.0
繰 上 金	585,747	2.6	500,810	589.6
繰 越 金	100,000	0.4	0	0.0
諸 収 入	483,686	2.1	△ 73,132	△ 13.1
市 債	3,438,000	15	691,900	25.2
歳 入 合 計	22,860,000	100	1,830,000	8.7

#### 【歳出】

(単位：千円、%)

区 分	予算額	構成比	対前年度 増減額	対前年度 当初比
議 会 費	265,289	1.2	61,475	30.2
総 務 費	2,244,940	9.8	△ 227,631	△ 9.2
民 生 費	6,663,667	29.1	596,534	9.8
衛 生 費	2,019,524	8.8	83,706	4.3
労 働 費	100,604	0.4	20,794	26.1
農 林 水 産 業 費	1,755,849	7.7	152,194	9.5
商 工 費	181,520	0.8	40,520	28.7
土 木 費	1,634,758	7.2	118,540	7.8
消 防 費	1,492,251	6.5	207,496	16.2
教 育 費	2,542,788	11.1	366,580	16.8
公 債 費	3,928,810	17.2	409,792	11.6
予 備 費	30,000	0.1	0	0.0
歳 出 合 計	22,860,000	100	1,830,000	8.7

#### 特別会計予算

(単位：千円、%)

区 分	予算額	対前年度 増減額	対前年度 当初比
農業集落排水事業特別会計	625,934	20,074	3.3
公共下水道事業特別会計	663,580	15,075	2.3
国民健康保険特別会計	5,511,024	△ 161,168	△ 2.8
老人保健特別会計	0	△ 826	皆減
後期高齢者医療特別会計	643,744	31,778	5.2
介護保険特別会計	3,879,798	179,953	4.9
合 計	11,324,080	84,868	0.8

#### 公営企業会計予算

(単位：千円、%)

区 分	予算額	対前年度 増減額	対前年度 当初比
国民健康保険病院事業	2,081,711	25,781	1.3

#### 23年度会計別当初予算 対前年度比較

(単位：千円、%)

区 分	平成23年度	平成22年度	増減額	増減率
一 般 会 計	22,860,000	21,030,000	1,830,000	8.7
特 別 会 計	11,324,080	11,239,212	84,868	0.8
公 営 企 業 会 計	2,081,711	2,055,930	25,781	1.3
全 会 計 総 額	36,265,791	34,325,142	1,940,649	5.7

平成23年度のつがる市当初予算が決まりました。一般会計と特別会計、企業会計を合わせた全会計の予算総額は、対前年度比5.7%（19億4,064万9千円）増の、362億6,579万1千円となっています。編成にあたっては、住民福祉増進を基本とし、施策の充実と財源確保のため、これまで同様

財政健全化の方針を継続。また、経済状況等を踏まえ、予算の重点的かつ効率的な配分に努めました。一般会計の歳入は、景気悪化等による減収が見込まれ、減額を見込んだ市税は21億9,024万3千円。地方交付税は、地域活性化・雇用等対策費などの創設により、増額計上し、106億円といたしました。

歳出では、事務事業の見直しや厳しい選択を行った上で、子ども手当の地方負担分を全額計上した他、中学生までの医療費について全額無料とする予算といたしました。他にも教育施設や広域事業等早急に整備が必要となる大型事業を計上し、18億3千万円の増額となりました。特別会計予算では、対前年度比0.8%の増、公営企業会計

では1.3%の増と、共にプラスとなりました。これからも、質の高い行政サービスを将来にわたって提供できるよう行財政構造改革を進め、最小の経費で最大の効果が得られるよう合理的な経営に努めていかなければなりません。



成田 克子  
芳政会

- ・ 職場におけるタバコ対策について
- ・ 新年度から小学5・6年生への必修となる外国語活動（英語）について

**問** 職場で他人の吸うタバコの煙を吸わされる受動喫煙が原因で死亡する人が毎年約6,800人で、うち、女性の被害者は4,600人に及ぶとされている。

厚生労働省は受動喫煙から働く人を守るために職場を原則禁煙にすべきとしているが、遅々として進んでいないのが現状である。  
庁舎内の分煙化を徹底し、女性職員を受動喫煙から守るためにも各階ごとに喫煙室の設置を提言するがいかがか。



市役所内の職員用喫煙場所  
通路に設置されている

**答** 総務部長

当市では、執務室や会議室を禁煙とし、喫煙場所を定めて、分煙による受動喫煙対策を講じております。また、労働安全衛生法による市衛生委員会を設置しておりますが、現

在各階に一カ所ずつ設置されている職員用の喫煙場所は、仕切りや換気扇による分煙がなされていないという指摘があり、適正な対策を講じることの提言を受けております。

庁舎内の分煙化の徹底に向け喫煙室の設置も含めて検討しているところですが、スペース確保の問題もあり、結論には至っておりません。早急に検討してまいります。

**問** 4月から小学5・6年生への英語の授業が始まるが、本市ではどのように取り組んでいるのか。

**答** 教育長

本市では、平成21年度から全ての小学校で外国語活動を先行実施してまいりました。実施に当たり外国語指導助手3名、地域の人材等外部人材の派遣制度を活用して民間から2名を各小学校に派遣してきました。児童の英語への興味関心を高めコミュニケーションに対する積極的な態度を育てるという趣旨で、学級担任の授業の補助になっているところです。

平成22年度は年間20時間から35時間まで今年度導入した電子黒板等を有効利用した授業が行われており、新年度からの新教育課程完全実施に向けスムーズに移行できる状況です。



長谷川 榮子  
無所属

- ・ 議員定数について
- ・ 国民健康保険について
- ・ AEDの導入について

**問** 現在の議員定数について市長の考えを伺いたい。

**答** 市長

平成20年12月議会においてつがる市議会議員の定数を定める条例案が提出され、今年1月の一般選挙から施行されております。

議員定数のあり方については、まだ議員各位によって協議していただくことが必要ではないかと思っております。

**問** 国民健康保険の納付率、滞納世帯数、滞納金額はいくらか。資格証明書（長期滞納者対象）を受けているのは何名なのか。また滞納者への対応を伺いたい。過去5年間の市議会議員とその家族に滞納者がいたのかも伺いたい。

**答** 財政部次長

納付率は平成21年度現年度分で87・7%、繰越分が15・2%です。滞納者世帯数1,380世帯。滞納金額は合計で6億3,086万6,000円です。

滞納者へは督促状による催告、電話による催告、各地区に出向いて各家を回って催告するなどの方法で納付を促しております。再三の督促、催促しても自主的に納付できないケースについては、差し押さえを含めた厳正な滞納処分を進めているところですが、

また、最後のご質問についてです

が、いかに議会であつてもお答えできるものではないというふうに考えております。差し控えたいと思っておりますのでご了解ください。

**答** 民生部長

2年以上国民健康保険税の納付がない世帯を対象にした資格証明書該当世帯は、59世帯、74人となっております。交付しているのは、33世帯、38人となっております。

**問** 各学校へのAED（自動体外式除細動器）の導入状況について伺いたい。

**答** 教育委員会次長

AEDの導入は、平成19年度から21年度にかけて全ての小学校に設置が完了しております。

木造中学校へ2台、その他の学校へは各1台ずつ合計17台を設置しております。

**問** 雪や風雨を防ぐことのできる屋根付きのバス停の設置をお願いしたい。

**答** 教育委員会次長

年度によってはその地区で乗車する児童生徒がない場合などがあり、通学バス専用の固定した屋根付き待合室の設置は、なかなか難しいと考えております。



松橋 勝利  
無所属

- ・ 議員報酬について
- ・ 成人病センターの今後について
- ・ 中核病院の医師確保について

**問** 住民所得と議員報酬の格差を感じる。議員報酬を下げてはどうか。

**答** 市長 特別職報酬審議会に諮問し、社会情勢や財政状況を考慮しながら広範かつ慎重な審議をいただき、総合的に判断し現在の報酬を提案させていただきます。

まずは議会内で十分に検討いただくことが適切ではないかと思っております。

**問** つがる市成人病センターは診療所になっても現状のまま利用するのか。

**答** 市長 成人病センターは、昭和55年3月に完成し、建物の外壁や内装も相当老朽化が進んでおり、このままでは大規模改修が避けられない状況になっております。現在の建物を改修して使うにしても、高い維持管理費、新たな改修が必要になると予想されることから、建て替えを前提に中長期的な視点で検討すべきと考えております。

**問** これからは広域連合で全部の病院を支えていくことになるが、他自治体の病院の債務はどうなるか。

**答** 成人病センター事務局長 平成24年4月から広域連合へ経営を移管するための色々な準備を現在進めております。

広域連合に経営が移る段階までに各病院が抱えている不良債務は各構成自治体の責任で解消するとの合意確認ができております。身軽な状態で新たな病院や診療所に移るといふことで推移していくこととなります。

**問** 中核病院の医師は確保できるのか。

**答** 市長 地域完結型の医療体制作りを目指して地域医療を守る自治体病院が機能の集約や再編成を行い、民間医療機関と連携し、地域全体で効率的な医療を提供できる体制を築いていくようにしてまいります。

これまで広域連合が医師確保に向けて取り組んだ結果としては、中核病院の根幹となる西北中央病院に、内分沁科、糖尿病科を開設し、非常勤医師を配置。眼科には常勤医が配置され、高度な手術に対応できる医療機器も導入されてございます。今後とも医師確保対策を最重要課題と位置付け広域連合とともに取り組むことが必要であると考えております。



佐藤 孝志  
芳政会

- ・ 農業行政について
- ・ つがる市過疎地域自立促進計画について

**問** 戸別所得補償モデル事業の検証と平成23年度の戸別所得補償制度の詳細について。また、昨年比10アールあたりどれくらい減収があったのかを伺いたい。

**答** 市長 米の戸別所得補償については生産調整に協力する農家に対し、固定払いと10アール当たり1万5,000円が支払われ、米価下落の補てん分1万5,100円が交付されます。昨年の高温障害による減収と、価格下落の状況では、農家としては何とか息をついたというのが実感だろうと思っております。

**問** 経済部長 昨年と比較すると10アールあたり2万5,560円くらいの減収と見込んでおります。

**答** 平成23年度の戸別所得補償制度の主な改正点は、畑作物の戸別補償交付制度の新設であります。

小麦、大豆その他7品目が対象となっており、交付金は、数量払いと営農継続払いの二つで構成されております。大きく変わった点として、米価変動補てん交付金の交付時期が、次年度にずれ込んで5・6月の交付になるのではないかと、飼料用米を転作した場合、圃場の稲わらが耕畜連携助成の対象となった点があげられます。

**問** 過疎地域自立促進特別事業について、本年度の事業数と予算額

を、また農業振興基金の事業の具体的な補助内容を伺いたい。

**答** 財政部次長 事業は自治組織活動助成事業基金積立金、農業振興基金積立金、病院会計の繰り出し金の3事業で2億850万円の予算になっております。

**問** 経済部長 農業振興基金については共同利用施設、機械の購入について国、県の補助事業に該当しないものに対する助成を考えております。

また、機械の免許の取得等に関してや、地域農業振興のための組織的な活動費についても助成をしたいと考えております。

**問** 市自治組織活動助成事業の具体的な内容について伺いたい。

**答** 総務部長 ひとつは集会所施設トイレ改修事業でございます。対象地区が森田地区の13ヶ所、木造地区が14ヶ所です。

備品等整備事業に関して対象費用は具体的に何かということですが、消耗品、動植物は除いてその他なるべく広く使用していただきたいと考えております。

また、50万円を超えたものは各自治会で負担をお願いしたいと考えております。



佐々木敬藏  
無所属

- ・環太平洋戦略的連携協定（TPP）について
- ・中学生以下の医療費無料化について

**問** 日本がTPPに参加した場合、第一次産業が大部分を占めるつがる市は大きな影響を受けると思うが、市としてどのような対応を考えているのか。

**答** 市長 農林水産省の発表では、TPPに参加すると、米の9割が輸入され、1割だけが国内で生産されると報道されています。

つがる市の農家、特に米農家は壊滅的な影響を受けることは間違いありません。今すぐ市の単独対応は困難ですが、生産者が汗を流した分、所得を確保できる施策が必要であると同時に、天候など不安定要素に対応する価格安定制度の充実に要望してまいりたいと思います。

特に米については食料確保政策として食管制度の復活も必要と思っております。全国一律ではなく、地域の特色に合った農業施策が必要であります。

市としては、農家の方々の話しを聞きながら対応していくことになると思います。

**問** 中学生以下の医療費を全額助成するとしているが、この無料化に伴う年間の経費にはどれ位見込まれているのか。

またその財源として米軍再編交付金を活用するところがあるが、財政的に大丈夫なのか伺いたい。

**答** 福祉部長

無料化の対象者拡大に伴う年間の医療費の助成額は、3,570万3,000円を見込んでおります。

現行の乳幼児医療費給付制度に係る市の負担分と併せて、年間助成額4,977万6,000円を見込んでおりますが、この財源には、米軍再編交付金を平成22年度から24年度の三年間に4億9,776万1,000円の基金積み立てをし、それを平成23年度から10年間の事業費に充当するというものです。

医療費の無料対象者拡大に伴う助成額の財源は確保できるということから事業運営に支障が生じないと思っております。

**問** 10年間の事業ということだが、期間の経過後は予算措置が出来るのか。

**答** 福祉部長

近年の急速な少子化、核家族化の進行等で子どもを取り巻く環境が大きく変化している状況にあり、何らかの子育て支援を講じることが求められており、今後とも積極的様々な施策に取り組んでまいりたいと思っております。

十年後も子ども医療費助成事業を継続するかについては、その時の諸般の情勢を見て判断してまいりたいと思っております。



三上 洋  
芳政会

- ・人口減少の現状について

**問** 人口減少社会が本格化しているのが現状であるが、合併時の人口と、現在の人口は。

また、年少年齢人口、生産年齢人口、老年年齢人口、従属人口指数を伺いたい。

**答** 民生部次長

平成17年3月31日現在の人口は、40,195人。平成23年2月28日現在は、37,226人です。

0歳から14歳までの年少年齢人口は、4,236人。15歳から64歳までの生産年齢人口は、21,987人。65歳以上の老年年齢人口は、11,003人。指数は69・309%となっております。

**問** 平成23年度、小学校に入学する児童数は何人か。

複式授業をしなければならぬような小学校もあるのか。また、将来的には学区の見直しをする用意もあるのか。

**答** 教育委員会次長

入学児童数は、11小学校合計で294人となっております。

複式学級は、育成小学校で、2、3年生。牛瀨小学校で、2、3年生と4、5年生となっております。

教育委員会事務局内につがる市小中学校適正化検討会というものを設けており、学区の見直し、通学区の見直しなどあらゆるものを総合的に

に判断してこの先の方向性を見出すということでも事務局段階で検討しております。

平成23年度中にある程度の方針を決めたいと思っております。



複式学級をしている牛瀨小学校

**問** 人口減少をどう食い止めるか市としても対策を講じるべきである。市長の考えを伺いたい。

**答** 市長

人口減少は農業、商業など様々な職種において影響を受けてきますので市の各部署においても検討していくことが必要だと思います。

人口減少によりつがる市そのものの活力が失われることは大きな打撃です。

市の中で検討する会議を開きたいと考えています。

# 一般質問

# ここが聞きたい



伊藤 良二  
芳政会

- ・つがる市の雪対策について
- ・農業振興について
- ・生涯教育について
- ・コミュニティセンターについて
- ・他

**問** 除排雪機械の充足状況等、つがる市の雪対策について伺いたい。

**答** 建設部長

除雪機は、現在直営の41台、委託業者の48台で対応しております。積雪値が80センチを超えたことを受け、1月28日、豪雪警戒対策本部を設置し、生活道路の重点除排雪及び緊急車両のための道路確保を実施しております。

**問** 農産物ブランド化事業の見通しは。農産物直売所の拡充強化は進んでいるのか。

**答** 市長

23年度から、ブランド認知度向上と産業振興を目的としてメロンの一坪地主、リンゴの一枝オーナー事業を実施する予定でございます。

**答** 経済部長

農産物直売所は、つがる市物産館という形で柏に建設予定です。出店はつがる市全域の農家から募集いたします。

**問** 生涯教育に関して図書館の設置計画はどのようになっているか。

**答** 教育委員会次長

建て替えを計画している中央公民館に図書館を併設したものでどうかということを検討いたしております。

**問** コミュニティセンターについて今後5年間の建設計画は。

**答** 総務部長

木造地区のいわゆる旧町地区6町内会は市から普通財産を借り受け集会所として利用しています。また公民館や松の館等大型施設があるため、町内会集会所等の新たな建設は基本的に行っておりません。

**問** 市営住宅の建設計画について伺いたい。

**答** 建設部長

桜木団地と若緑団地の建て替え事業については、旧弘前高等技術専門学校つがる校跡地を考慮しております。跡地面積は2万300平米。今後県の用地鑑定実施後の払い下げ決定通知を受け、23年度末には事業要望を提出し、事業採択後段階を経て工事着手となります。建て替え戸数は313戸を考慮しております。

## つがる市子ども医療費事業について

子育て支援の一環として、中学生までの医療費を無料化することにより、保護者の医療費負担を軽減し、その家庭における生活の安定と生育環境の向上を目的とした「つがる市子ども医療費助成事業」が本年4月よりスタートいたしました。事業の財源としての基金を設置するための条例は、3月議会で可決されております。事業の概要についてお知らせいたします。

### 事業の概要

0歳から中学校修了までの児童の、医療費の一部負担金を全額助成する。また、所得制限を撤廃するとともに、給付方法を償還払いから現物給付に変更する。これにより保護者は窓口での医療費の支払いが不要となる。

### 事業実施期間

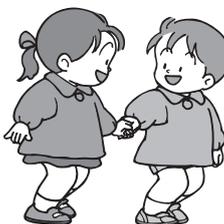
平成23年度から平成32年度までの10年間。

### 財源

車力通信所再編関連継続特別事業による再編交付金を活用した基金（つがる市子ども医療費助成事業基金）を設置しこれに当てる。

### 基金造成

平成22年度	2億7千6百万円
平成23年度	1億9千百万円
平成24年度	3千076万円
合計	4億9千7百76万1千円



### 23年度の事業費

歳入	乳幼児医療費県補助金	14,073,000円
	基金繰入金	49,776,000円
	計	63,849,000円
歳出	乳幼児医療給付費	28,146,000円
	小・中学生医療給付費	35,703,000円
	計	63,849,000円

# 予算特別委員会の審査



委員長  
高橋 作藏

議案第5号  
つがる市国民健康保険高額療養費貸付基金条例の一部を改正する条例

**問** 松橋 勝利 委員  
23年度の高額療養費の利用者はどれくらいか。

**答** 民生部長  
平成23年2月現在で51件、貸付総額は912万8,000円となっております。

議案第10号  
平成22年度つがる市一般会計補正予算

**問** 佐々木 直光 委員  
強い農業づくり交付金及び経営体育成事業費補助金の減額の理由は。

**答** 経済部次長  
強い農業づくり交付金につきましてはJAつがるにしきたで建設しております。

した野菜収集予冷庫事業費減額に伴う補助金の減によるものです。また、経営体育成対策事業については、集落営農組織からの事業計画辞退により減額いたしました。

**問** 佐藤 孝志 委員  
軽度発達障がい児支援体制整備事業委託料の事業内容は。

**答** 福祉部次長  
注意欠損多動性障がい、学習障がいのあるお子さんが支援対象児童とされ、早期の療育が効果的と言われております。発達障がい児として受け入れ態勢が確立していない中で、独自にその障がい児保育に取り組んでいる2保育園に、先導的に実践していただき、その手法や効果を他の園にも拡大させ支援体制の構築を図る事業内容となっております。

議案第15号  
つがる市介護保険特別会計

## 補正予算

**問** 長谷川 榮子 委員  
特定入所者介護サービスとは。

**答** 福祉部長  
このサービスは、所得の低い方が介護施設を利用した場合に軽減措置を図るための制度です。

具体的には施設入所の際の自己負担分である居住費と食費について限度額を超えた分を支給するというものでございます。

議案第17号  
平成23年度一般会計予算

**問** 成田 昭司 委員  
子ども手当については流動的な状況であるが、平成22年度2、3月分の支給についてはどうなのか。

**答** 福祉部次長  
国の動向もございませすが、現段階では2、3月分については6月に支給できるとの予定でございます。

**問** 佐々木 直光 委員  
子ども手当から、保育料や学校給食費等の滞納分

について差し引いて支給してもいいのではないかと考えるが。

**答** 福祉部次長  
本人の同意を得ながら分納計画書を提出いただき納めていただいている状況です。

**答** 福祉部長  
子ども手当から差し引きをしてもよいということ聞いてはおりますが、現段階ではいつからどのような形でという詳細については通達が届いておりません。出来るようになった折には通達に従って差し引いていきたいと考えております。

**問** 松橋 勝利 委員  
自殺対策緊急強化事業補助金はどのような対策に使われるのか。

**答** 福祉部長  
自殺については大きな社会問題となっております。併降本市でも強力に取り組んでまいりました。その結果右肩下がりに減少してきております。対策としては、相談員の養成、自殺予防に

ついて市民に周知を図るための講座の開設、パンフレット作成等であり、補助金は県からのものでございます。

**問** 松橋 勝利 委員  
緊急雇用創出対策事業補助金にはどのような事業があるのか。

**答** 経済部長  
3年にわたるこの事業も最終年度です。主なものは、学校教育活動支援事業、つがるらちやんプラザ開設に伴う雇用事業、つがる市宅配事業ほか23項目となっております。

**問** 長谷川 榮子 委員  
つがる市シルバー人材センターの登録会員数は。また窓口は今後増加の予定があるのか。

**答** 福祉部次長  
会員数は201名。市の直営でないため各地域への窓口設置については団体そのものの判断になると考えます。

## 提出された議案と審議結果

(市長提出議案)

議案番号	件名	議決結果
議案第3号	つがる市職員等の旅費に関する条例の一部改正	原案可決
議案第4号	つがる市特別会計条例の一部改正	原案可決
議案第5号	つがる市国民健康保険高額療養費貸付基金条例の一部改正	原案可決
議案第6号	つがる市コミュニティ消防センター条例の一部改正	原案可決
議案第7号	つがる市出産祝金条例を廃止する条例	原案可決
議案第8号	つがる市乳幼児医療費給付条例の一部改正	原案可決
議案第9号	つがる市子ども医療費助成事業基金条例	原案可決
議案第10号	平成22年度つがる市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第11号	平成22年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第12号	平成22年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第13号	平成22年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第14号	平成22年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第15号	平成22年度つがる市介護保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第16号	平成22年度つがる市国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第17号	平成23年度つがる市一般会計予算	原案可決
議案第18号	平成23年度つがる市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第19号	平成23年度つがる市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第20号	平成23年度つがる市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第21号	平成23年度つがる市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第22号	平成23年度つがる市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第23号	平成23年度つがる市国民健康保険病院事業会計予算	原案可決
議案第24号	つがる市教育委員会委員の任命につき同意を求めるの件	同意
議案第25号	つがる市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるの件	同意
議案第26号	工事の請負契約の件(向陽小学校屋内体育館改築工事)	原案可決
議案第27号	つがる市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する基本協定の一部変更の件	原案可決
議案第28号	つがる市公の施設に係る指定管理者の指定の件(つがる市木造農産物加工センター)	原案可決
議案第29号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更の件	原案可決

(陳情)

陳情第1号	新たな高齢者医療制度に関する陳情書	不採択
-------	-------------------	-----

**問** 松橋 勝利委員  
生活保護費受給者認定後の調査について聞きたい。

**答** 福祉部長  
ケースにもよりますが保護開始後は毎月家庭訪問し実態を把握するようにしております。変更のあった

時は申告をするよう指導し、それにより保護費の減額をするなど対応をしております。

**問** 成田 昭司委員  
柏の放課後児童クラブは環境改善センターへ移すと聞くがどのような形態で

の実施を考えているか。  
**答** 福祉部長  
2階会議室を改修して利用する予定となっております。他団体の使用がない日はホールも利用できます。あわせて体育館も利用したいと考えております。

## 主な可決議案

議案第3号

つがる市職員等の旅費に関する条例の一部を改正する条例

鉄道による旅行にパック料金を適用する規定を加えるほか、字句整理を行うために提案されたもの

議案第5号

つがる市国民健康保険高額療養費貸付基金条例の一部を改正する条例

高額療養費貸付の利便性を高めるため及び現状の貸付金運用額に合わせた基金額への変更をするため提案されたもの

議案第6号

つがる市コミュニティ消防センター条例の一部を改正する条例

吉出、出野里及び千代田コミュニティ消防センターを新たに設置するために提案されたもの

議案第8号

つがる市乳幼児医療費給

付条例の一部を改正する条例

中学生までの医療費を無料とするつがる市子ども医療費助成事業を実施するにあたり、乳幼児の医療費に係る一部負担金に関する事項を適用しないこととするため提案されたもの

議案第24号

つがる市教育委員会委員の任命につき同意を求めるの件

2名の委員が任期満了となることから提案されたもの  
鳳至英俊氏(柏) 新任  
黒滝 亨氏(稲垣) 再任

議案第25号

つがる市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めるの件

委員の任期満了に伴い提案されたもの  
半田 修氏(木造)  
鶴賀谷孝一氏(森田)  
柴谷 義三氏(柏)  
佐々木 保氏(稲垣)  
工藤 順一氏(車力)

# 委員会の審査

## 経済常任委員会

委員長 天坂 昭市



議案第28号  
つがる市公の施設に係る指  
定管理者の指定の件

つがる市木造農産物加工  
センター

### ◆指定管理者

社団法人つがる市シルバ  
ー人材センター

### ◆指定期間

平成23年4月1日から  
平成26年3月31日まで

**問** 成田 克子 副委員長  
年間の管理料はどれく  
らいか。

**答** 経済部次長  
23年度当初で185万  
円計上しております。

## 建設常任委員会

委員長 木村 良博



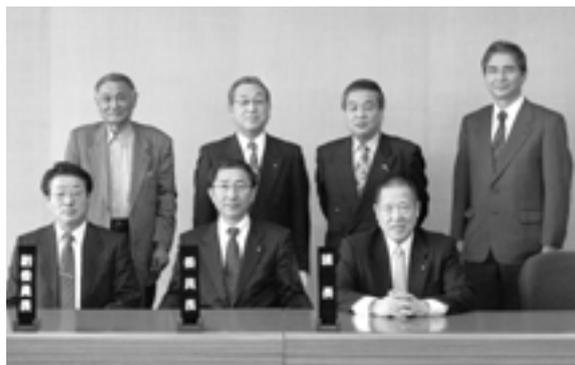
議案第27号  
つがる市公共下水道根幹的  
施設の建設工事委託に関す  
る基本協定の一部変更の件

**問** 長谷川 榮子 委員  
木造浄化センターの自  
家発電は今回が初めての整  
備か。

**答** 建設部長  
今回の三期工事で初め  
て整備いたしました。  
非常にタイミングよく実  
施され、この度の大地震の  
停電でも何ら影響なく処理  
場を稼働できました。

## 教育民生常任委員会

委員長 佐々木 慶和



議案第7号  
つがる市出産祝金条例を廃  
止する条例

**問** 野呂 司 委員  
祝金の廃止は第三子を  
儲けようとする家族に出生  
を躊躇させ、少子化対策の

ブレーキとならないか。

### 福祉部長

**答** 市では中学生以下の児  
童・生徒医療費無料化を今  
後十年間、また様々なワ  
ク・接種の無料化も今後5  
年間実施することとしてお  
ります。他にも保育所や放  
課後児童クラブ等子育て支  
援を拡充し強化してまいり  
たく、財源も見極めながら  
この度の祝金廃止の考え方  
に至っており、ご了解いた  
だきたいと思えます。

陳情第1号  
新たな高齢者医療制度に関  
する陳情書

国の動向がまだ不透明で  
もあり、審査の結果、時期  
尚早ということでは不採択と  
決する。

## 総務常任委員会

委員長 村上 秀徳

議案第29号  
辺地に係る公共的施設の総  
合整備計画の変更の件

**問** 山本 清秋 委員  
計画変更の基となる辺

地度点数とはどういうもの  
か。

### 財政部長

**答** 市の中心部から離れて  
いて交通条件等に恵まれな  
い地域の、病院や小中高校  
等公共施設までの距離を法  
令に基づいて点数化したも  
のを辺地度数といいます。  
例えばその地域から市役  
所までの距離が何キロあれ  
ば何点というふうに決めら  
れております。それらを全  
て総合評価し、100点以  
上であれば辺地ということ  
になります。またそこに50  
人以上の人口を有すること  
も条件として謳われており  
ます。



# これまでの議会の活動の一部を紹介します

2月1日	青森県市議会議長会第3回総会・八戸市
3日	全国市議会議長会基地協議会第74回総会・東京 (～4日)
9日	全国市議会議長会評議員会・東京
16日	平成23年第1回臨時会
20日	はやぶさ試乗会
27日	平成22年度つがる市文化賞・スポーツ賞授与式
3月1日	木造高校卒業式 議会運営委員会
4日	平成23年第1回定例会招集日
7・8日	本会議（一般質問）
10～14日	予算特別委員会
15日	教育民生常任委員会、建設常任委員会
16日	経済常任委員会、総務常任委員会
18日	平成23年第1回定例会閉会
25日	川除保育園卒園式
4月3日	つがるちゃんプラザ開設 東日本大震災義援金の募金活動
5日	つがる市連合婦人会定期総会
23日	障害者と共に地域生活を考え・拓く会定期総会
25日	教育民生常任委員会 建設常任委員会所管事務調査（市内）
26日	つがるブランド推進会議総会
27日	つがる市民生委員児童委員連絡協議会総会
28日	青森県消防協会西支部評議員会総会
29日	青森懸護国神社第63回例大祭

## 4/25 施設見学 (稲垣・車力地区小・中学校、幼稚園)



4月25日、教育民生常任委員会では稲垣・車力地区の小・中学校、幼稚園を視察。より良い教育環境について考察しました。他地区については次年度に予定されております。

## 4/25 施設見学 (つがる市内施設・路線)



4月25日、建設常任委員会では、つがる市内施設や路線を視察し、より安心安全な環境について考察しました。

議会を傍聴しましょう  
《次回定例会予定》6月



議会傍聴  
つがる市連合婦人会

つがる市連合婦人会の皆さんが一般質問を傍聴しました。  
大変勉強になったという感想をいただきました。また、中核病院の対話集会をつがる市でも開催してほしいとの要望も聞かれました。

編集後記

つがる市議会だより27号をお届けいたします。

東日本大震災の爪痕はまだ深いものの、顔を上げ前へ進もうとする姿も着実に増えているようです。

まずは被災地を思い、被災者に心を寄せながら、出来ることから応援していきたいものです。

さて、私も議会だより編集委員は、今号よりナンバーでスタートいたしました。

市民の皆様にも親しまれる議会だよりとなるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 市議会だより編集委員会

- 委員長 野呂 司
- 副委員長 佐々木直光
- 委員 木村 良博
- 委員 長谷川 徹
- 委員 小笠原 忍
- 委員 村上 秀徳
- 委員 佐々木慶和
- 委員 平川 豊
- 委員 齊藤 幸洋
- 委員 伊藤 良二